

東白川村 美しい村づくり 委員会

第17回

○場所：ふれあいサロン

○時期：平成29年8月31日 19:00~21:00

○参加者：委員6名 行政4名

オブザーバー：名古屋大学大学院環境学研究科 高野教授

【集落あるき】

〈ふりかえり〉大明神地区

◇大明神地区のエリアが広く、今回の集落あるきはスポットめぐりになってしまい、場所によっては間延びしてしまった箇所も出来てしまったとの意見がでてきました。個人の生活にも焦点をあて、地域の過去を学ぶことも必要ではとの意見が出ました。

【名古屋大学大学院 東白川村スタディーツアー】

〈報告〉

◇名古屋大学大学院高野教授にご出席いただき、7月22（土）に行われた名古屋大学大学院の学生の成果物について報告を受けました。

今回のツアーの目的は、学生がラオスと東白川村を比較研究し、各々の地域に何らかの新しい提案をしていくことです。12月には白川町にて発表会が行われる予定です。

【夏祭り】

〈ふりかえり〉

◇8月14日（月）に出展した東白川夏祭りについて振り返りました。

（感想）

・祭りでは続けて何かやっていくのではなく、その時々でやりたいことをやっ

ていきたい。

- ・今年はいつもと違った感じ、外からの人ではなく、村内の人が中心となって盛り上げてくれた。
- ・以前行っていた、平の商店街にて行われていた夏祭りを復活させたい。
- ・田舎くさい、手作り感をもっと出していきたい。
- ・来年は盆踊りを生音で実施も検討したい。
- ・夏祭りは村の出身者が集う機会となっている。未来のUターン者にむけてアプローチする機会では。
- ・若者が集まっている分、最近はや配の方の参加が減った。

▼まとめ

お祭りのお客さんやより多くの村の方を巻き込む仕組みづくりを考えていくことや、委員会にとって村内の方々へ周知するデビューの場となったとの話が出ました。また、フードメニューの新しい展開や、花火の質への新しいチャレンジ案などが出てきました。

(夏祭りの花火は東白川村の大きな観光資源との移住者からの意見から)

【東白川村がんばる地域補助金】

〈事業報告〉

①ヒガシシラカワズカップ

◇夏祭りと同日に行われたヒガシシラカワズカップについて報告がおこなわれました。

(報告内容)

参加者は51名(内訳村内9名、村外40名、女性2名)で、当初100名との目標で参加者を募ったがほぼ想定どおり50名程度になったとのこと。

(目標は大きく掲げないとリアルな成果が出づらいため) 協賛金も集めることができ、今後は補助無しでも事業を続けていけるよう検討していくとのこと。

今回の反省点としては、受付の会場と検量の会場を一緒にすることが出来なかったことがあげられましたが、この大会を継続していく目標を掲げられました。

【日本で最も美しい村連合】

〈再審査報告〉

◇日本で最も美しい村連合による再審査が8月20日、21日に実施され、再審査時に美しい村づくり委員会が評価されたことも含め、一時報告を行いました。

【企画募集】

〈基調講演、シンポジウム、くるま座など・・・〉

◇コミュニティの助成事業(10/10 上限300万)の募集を受け、企画係の中で一度、委員会で検討してみてもとの話があり、今回、委員の皆さんから企画アイデアの募集を行いました。出てきた企画は4件でした。コミュニティ助成事業の規模には、どれも該当しなかった為、村単独で実行できるか、出てきた4企画を検討していきます。

【案内】

◇9月4日に行われる、NPO法人青空見聞塾による「持続可能なシンポジウム」の参加の案内がありました。

以上